

## 『西岬地区学校のあり方を考える会』における「保護者委員」の意見結果 及び地区保護者等との意見交換状況について

（「西岬地区学校のあり方を考える会」について）

- 委員 8名（小学校保護者3名・未就学児保護者2名・地区代表3名）
- 検討過程 令和4年10月～令和5年5月

（協議内容）

- 保護者として考える望ましい学校規模について
- ✓ 複式学級の学校規模でも良いので、地域に学校を残して欲しい。
  - ✓ 1学年単学級での教育環境を望む。  
[市が示す最低限の学校規模（1学年15人，小学校全体90人）以上]
  - ✓ クラス替えが可能となる学校規模での教育環境を望む。

（協議経過）

日 付	内 容
令和4年6月30日	保護者・地区説明会（基本指針説明、地区協議方法に関する意見交換）
令和4年10月21日	「学校のあり方を考える会」第1回会議 （組織規約の決定、意見集約化の手法検討）
令和4年12月2日	「学校のあり方を考える会」第2回会議 （学校規模に関するメリット・デメリット／論点整理など）
各保護者委員が“保護者として考える望ましい学校規模について”検討する期間	
令和5年1月20日	「学校のあり方を考える会」第3回会議 （保護者委員／意見交換～意見集約化）
令和5年2月3日	保護者説明会（案内通知発送／（現）小学校・未就学児保護者）
令和5年3月3日	保護者説明会（PTA役員会へ周知依頼）
令和5年3月24日	保護者説明会（～令和5年4月10日まで意見聴取期間）
令和5年5月12日	「学校のあり方を考える会」第4回会議 （意見聴取結果を含め、保護者委員の意見決定）
令和5年5月16日	保護者通知（保護者委員の決定意見を小学校・未就学児保護者に周知）
令和5年6月9日	西岬地区（区長会）にて保護者意見の説明
令和5年6月15日	西岬地区（地区住民への回覧／保護者委員の決定意見）

(協議結果／保護者委員意見)

結 論

クラス替えが可能となる学校規模での学校再編を望む

(付帯意見)

- ※ 子供達の交友関係を広げるためにも、可能な限り早い時期での学校再編を望む。
- ※ 再編後の学校規模は、1学年5クラス以上となるような規模ではなく、国が示す標準規模程度が最適だと思う。

理 由

- 多くの友人と様々な経験をさせてあげたい。
- 更なる少子化を見据え、決断するならクラス替え出来る規模での再編を行わないと、将来世代が同じ議論をすることとなる。

各委員の意見（クラス替え可能な学校規模を望む意見）

- 子供に一定規模での集団生活を経験させることで、多様な意見・経験に触れさせ、より多くの人間関係を築き上げて欲しい。【多数意見】
- 小規模な再編では、近い将来にて子供達にとって同じ課題が発生してしまう。更なる少子化は避けられないため、このような機会にクラス替えが出来る学校規模に再編すべき。【多数意見】
- 私が小学校の時は、1学年30人程度の規模であり、そのぐらいの規模感でも良いと思うが、仮にその規模感での学校再編を行ったとしても、更なる少子化により、再度子供達が少人数での学校生活を送ることとなる。よってクラス替えが可能となる学校再編を望みます。
- クラス替え可能な規模での子供へのメリットが魅力的と感じた。また、現場の先生が説明してくれたように、先生方の指導力向上（教科担任制・教員間での切磋琢磨）も図られ双方にとっても良いと思う。
- 1学年単学級であれば、いずれ市が示す最低ラインの1学年15人程度となる学年も発生し、そうした時の男女比率の偏りが保護者として心配である。
- 1学年の人数が多すぎる学校再編（5学級以上）は、望んでいない。子供への目が行き届かなくなる懸念があること、親が子供の友人（家庭環境を含め）を把握できなくなることが心配
- 今の小学校規模では、行事や運動会などに競いがいがないと感じる。
- 自分が小学校の時、クラス替えにより新しい友人が出来ることを楽しみにしていた。
- 小学校時代に友人の親の顔を覚えていて、大人になっても親を含めた交流もあり、そのような関係性が築けるような学校規模（学年2～3クラス）が良いと思う。
- 館山中に進学した長女を見て感じたことが一番大きな理由であり、先生方の目が行き届かなくなるのはあるかもしれないが、まだ1年も経ってないのに友人がたくさん出来た。同じクラスでない子供とも新たな友人関係を築いている姿をみると、学校規模は大きければ大きいほど良いと思う。
- P T A 活動の負担軽減にも繋がる。

各委員の意見（複式学級の学校規模でも良いので地域に学校を残して欲しい意見）

- 意見なし。